

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 旭トラストフーズ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒703-8214 岡山市東区鉄320-1	
本票作成	部署名：業務管理部 総務経理課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	パン粉及びクルトンを製造している食料品製造業です。 2023年度 生産量11,736.2 t 従業員109人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山市東区鉄320-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 8 年度)					
	5,204 t CO ₂			5,048 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	岡山工場		5,204 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	原単位指標：自社生産量 (t)		基準年度	目標年度
			443.414	430.112
		kg CO ₂ / (t)	kg CO ₂ / (t)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ法の努力目標である、エネルギー原単位前年比1%以上の向上と堂々の目標としてCO₂排出量においても原単位換算で年1%ずつの段階的削減を目標値として設定する。

【目標削減率達成のための推進体制】

省エネ法に基づき、エネルギー原単位削減を目標にエネルギー管理体制を構築。
 エネルギー管理規定・管理標準を軸に省エネ活動を行う。
 SDGS推進委員会にて原単位指標向上のため、省エネ診断の実施や生産効率の向上など
 省エネルギー化に寄与する活動を行う。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山工場	平成17年 発電機設置 平成17年 排熱回収ボイラ設置 平成17年 電力使用量監視システム導入 平成22年 営業車をハイブリッドカーに切替 平成23年 水冷ブラインチラーの切替 平成24年 遮熱光塗料の外壁塗装による室内温度（冷房負荷）低減 平成24年 小型還流蒸気ボイラの切替 平成25年 空調設備の省電力タイプへの切替 平成28年～29年 HF蛍光灯・水銀灯からLED照明へ切替(工場・倉庫) 平成28年～令和5年 R22冷媒使用機器を高効率エネルギー機器へ更新 令和5年 オープン釜オーバーホール

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージエアコンの更新 ・照明人感センサー導入 ・乾燥工程高効率バーナーへ更新 ・包装設備更新 ・クルトンライン更新 ・太陽光発電の導入検討 ・重油焚き自家発電設備の稼働満了 設備更新の際に、高効率エネルギー機器への入れ替えを積極的に行う。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

事務所において、クールビス・ウォームビズ運動を推進、冷暖房設備の電気使用量を抑制。